様式２－１

事　業　計　画　書（〇〇

具体的に書いてください。内容については
「5W1H」を意識して記載してください。
「who：誰が」「what：何を」「when：いつ」
「where：どこで」「why：なぜ」
「how：どうやって」

事業名	市民活動団体のための組織運営力レベルア	
目的 （市民ニーズへの対応）	市民活動団体・ＮＰＯ等の組織を運営する上で ポットを当て、資金確保に関する知識やノウハウについて学ぶことを目的とする。また、自分以外の団体の状況を知り交流の機会を持つことで、団体同士の連携づくりのきっかけともする。	
事業期間	令和〇〇年〇〇月　～　令和〇〇年〇〇月	
具体的な事業内容 （いつ・どこで・対象者・参加者数・参加費・事業の周知方法等）	いつ	第１回 題名：「資金の現状と課題」 日時：令和〇〇年〇〇月〇〇日 10：00～ 第２回 題名：「財政安定につながる団体の情報発信」 日時：令和〇〇年〇〇月〇〇日 10：00～
	どこで	第１，２回　場所：市民活動サポートセンター 会議室１・２号（札幌市北区北８条西３丁目札幌エルプラザ２Ｆ）
	対象者	市民活動を行っている方
	参加者数	30 名程度
	参加費有無	（受講料 1,000 円）
	周知方法	当団体ホームページ及び市民活動サポートセンターメールマガジン、チラシ等にて募集する。
	内容詳細 その他	著名な講師である□□□□□□氏（経歴別紙）を東京から招き、市民活動団体やＮＰＯ等が、組織を運営する上で必要な資金の種類について知り、それぞれの団体に見合った資金の獲得方法を学ぶため、２日間の連続講座（受講料 1,000 円）を開催する。 受講者は市民活動を行っている方 30 名程度を予定しており、当団体ホームページ及び市民活動サポートセンターメールマガジン、チラシ等にて募集する。 第１回 題名：「資金の現状と課題」 市民活動団体の資金調達での問題に対応するための講義で、その問題点を学ぶ。さらに、グループ討論により、各団体同士が抱えている資金面

<table>
<tr><td></td><td></td><td>の問題を共有し、財政を安定させるための収入・支出について考える。
第２ 回 題名：「財政安定につながる団体の情報発信」
団体の安定的な会費や寄付の確保に不可欠な情報発信について分かりやすく講義する。さらに、グループワークをとおして団体が発信している情報について振り返り、効果的な情報発信のあり方を考える。</td></tr>
<tr><td>期待される効果
（事業の実施によりどのような効果があるか。多くの市民に効果が及ぶものか。）</td><td colspan="2">団体の運営に携わる方が、資金確保に関する知識やノウハウを学ぶことで、各団体の安定的な組織運営が可能となる。また、団体同士の交流が生まれることで、複数の団体が連携した新たな事業開催の糸口となることも期待される。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">さぽーとほっと基金による直近の助成実績</td><td colspan="2">事業名　市民活動団体のための組織運営スタートアップ講座</td></tr>
<tr><td>助成金￥１００，０００円</td><td>助成時期令和〇〇年〇〇月～令和〇〇年〇〇月</td></tr>
<tr><td colspan="2">事業の成果
これから市民活動団体を立ち上げたいと考える団体や団体を設立して間もない団体が多く参加し、これからの組織運営に役立つ基本的な知識やノウハウを学んだ。また、団体同士の情報共有、交流の機会としても役立った等の声が寄せられた。</td></tr>
<tr><td colspan="2">今回レベルアップした点など（今回の事業が過去の助成事業と同内容の場合）
ある程度の活動実績を持ち、組織運営力を身に着けた団体にとって、今後、安定的な組織運営を行うことが課題となってくる。そのために不可欠となる資金調達について学ぶことにより、団体の基盤のレベルアップを図る。</td></tr>
</table>

※記載欄が不足する場合など、この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます

事業内容を記入する欄には、事業の内容、手法、参加する方の人数、募集方法、事業の周知方法、事業に協力してくれる方など事業に関することについて、申請時点でわかっていることをできる限り詳しくご記入ください。1ページに収めなくても結構です。

記入スペースが足りない場合は、別紙を添付してください（様式は問いません）。